

震災・津波遺児の心に寄りそうボランティア

ファシリテーター養成講座 参加者募集

11/29

特別講演

10:00～12:00

「神戸の遺児と保護者
による講演会」

入場無料、定員 100 人

※詳しくは裏面をご覧ください。

【日程】 **2014年11月29日(土) 14:00～17:00**
30日(日) 10:00～17:00

※11月8日・9日には石巻市でも養成講座を行います。

【場所】 **一関市総合防災センター** (一ノ関駅から徒歩10分)

【進行】 あしなが育英会職員

【参加費】 学生 1,000 円、一般 2,000 円

【定員】 学生 30 人、一般 20 人

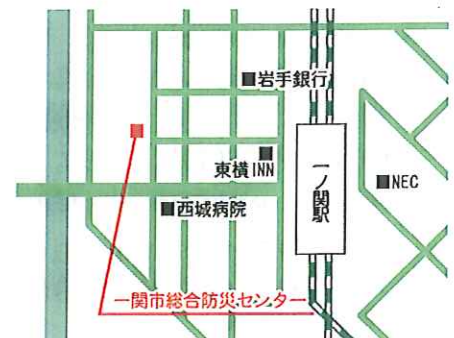
【申込】 事前申込制です。あしなが育英会へ「名前、郵便番号、住所、電話番号」をご連絡ください。こちらから折り返し申込書を郵送します。申込書の先着順で受け付けます。

【条件】 ① 2 日間の講座すべてに参加できる方
② 東北 6 県在住で 2014 年 4 月 1 日時点で 18 歳以上の方
③ 今後の活動にボランティアで参加する意思をお持ちの方

【内容】 ① 子どもの悲嘆についての基礎知識
② 子どもを手助けするコミュニケーションスキル (講義とロールプレイ)
③ あしなが育英会の活動内容の説明

【主催】 あしなが育英会東北事務所

【後援】 厚生労働省 (予定)



〒021-0885 岩手県一関市田村町 1-21

お申し込み・
お問い合わせは

あしなが育英会陸前高田レインボーハウス

〒029-2205 陸前高田市高田町鳴石 112-7 TEL: 080-3330-2418 / Eメール: rainbow-t@ashinaga.org

.....ファシリテーターとは.....



○ファシリテーターは経験や資格、学部学科を問いません。

○ファシリテーターの役割は、遺児が心のうちにある思いを言葉で表現すること、言葉ではなくても身体で表現することを、やりやすくするように手助けすることです。

○自由に遊び、おしゃべりする中で、ていねいに子どもの心へ触れること、子どもが身体を動かして気持ちを発散することをお手伝いしていただきます。

○養成講座は講義形式ではなく、身体を動かしたり、相手の話に耳を傾けたり、実践形式を中心に子どもへの接し方を学んでいただきます。

○仙台、石巻、陸前高田などであしなが育英会が開催する遺児家庭の交流プログラムへご参加ください。

○仕事、学業、家庭など、各自のご事情に差し支えない範囲で活動へご参加ください。

.....レインボーハウスとは.....

東北には、仙台、石巻、陸前高田の3か所にレインボーハウスがあります。

レインボーハウスは遺児同士や保護者同士の出会いと交流の「家」です。心のうちを表現することで自分の気持ちに気づき、自然と気持ちを癒せるような安心、安全な場所をめざします。遊びやおしゃべりなどで仲間づくりをする中で「自分はひとりじゃない」と気づき、子ども自らが生きる力を取り戻します。



「神戸の遺児と保護者による講演会」

あしなが育英会では、1995年の阪神・淡路大震災以降、遺児とその家族の心のケア活動に取り組んでいます。震災の4年後に「神戸レインボーハウス」(神戸市東灘区)を建設して、日常的・長期的に子ども達を見守って寄りそってきました。これまでの19年間の心のケア活動によって、多くの子ども達が心癒され成長しました。成人した神戸の震災遺児と、遺児を育てた保護者の方3~4人のお話をうかがいたいと思います。

【日 程】2014年11月29日(土)

【時 間】10:00~12:00

【進 行】あしなが育英会職員

【出 演】3~4人を予定しています。

【参加費】無料

【定 員】100人

【内 容】幼少のときに阪神・淡路大震災で親をなくした大学生、青年が19年間の体験をお話します。また保護者の方にも、これまでの育児や生活の経験を話していただきます。後半は会場からの質問をお受けしたり、感想のわかち合いを行う予定です。

※ファシリテーター養成講座を受講されない方でも、講演会にはご参加いただけます。